

平成28年度伏原遺跡現地説明会資料

1 調査の概要

(1) 調査の目的

今回の発掘調査は、伏原遺跡の範囲で高知県が計画している山田バイパス建設工事によって影響を受ける部分について、発掘調査を行い遺跡の内容を記録保存し後世に伝えると共に地域の歴史解明に役立てようとするものです。

(2) 事業主体

高知県中央東土木事務所

(3) 発掘調査主体

公益財団法人 高知県文化財団 埋蔵文化財センター

高知県南国市篠原1437-1

(4) 調査場所

香美市土佐山田町楠目

(5) 調査期間

平成28年4月18日～6月30日(予定)

(6) 調査面積

約800㎡

2 伏原遺跡について

伏原遺跡は洪積台地上に所在し、周辺は弥生時代後期後半から古墳時代にかけての遺跡が密集する地域です。周辺では発掘調査も多く行われており、弥生時代末の遺跡として、ひびのき遺跡やひびのきサウジ遺跡、古墳時代の伏原大塚古墳は高知県でも著名な遺跡です。

伏原遺跡はこの中でも広範囲を占める遺跡で、平成18・19年度に都市計画道路建設により一部を発掘調査しています。これらの調査では、縄文時代から近世までの遺構や遺物を確認しています。弥生時代末では多角形や方形の住居跡や土器を棺にした墓跡などを確認しており、古墳時代ではカマドの付いた住居跡を確認しています。近接する伏原大塚古墳はこの地域の首長の墓と考えられており、弥生時代末から古墳時代にかけて伏原遺跡はこの地域の中心集落であったと考えられます。

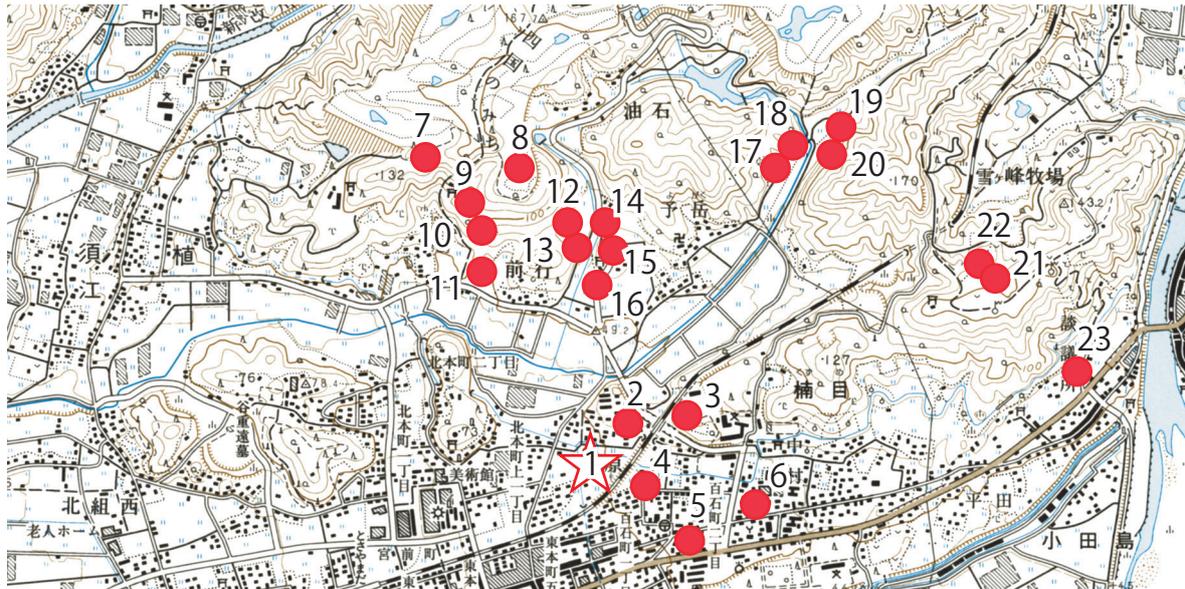
3 調査成果

遺構

- ・弥生時代末～古墳時代初頭の多角形と方形の住居跡を確認した。
- ・弥生時代末～古墳時代初頭の壺棺墓を1基確認した。
- ・掘立柱建物を2棟を確認し、内1棟は3間×4間の大形掘立柱建物跡である。
- ・古墳時代後期の住居跡を確認し、内1棟はカマド跡を確認した。
- ・調査地点は伏原遺跡の西端部にあたるが、弥生時代から古墳時代の遺構は更に西側に広がることを確認した。

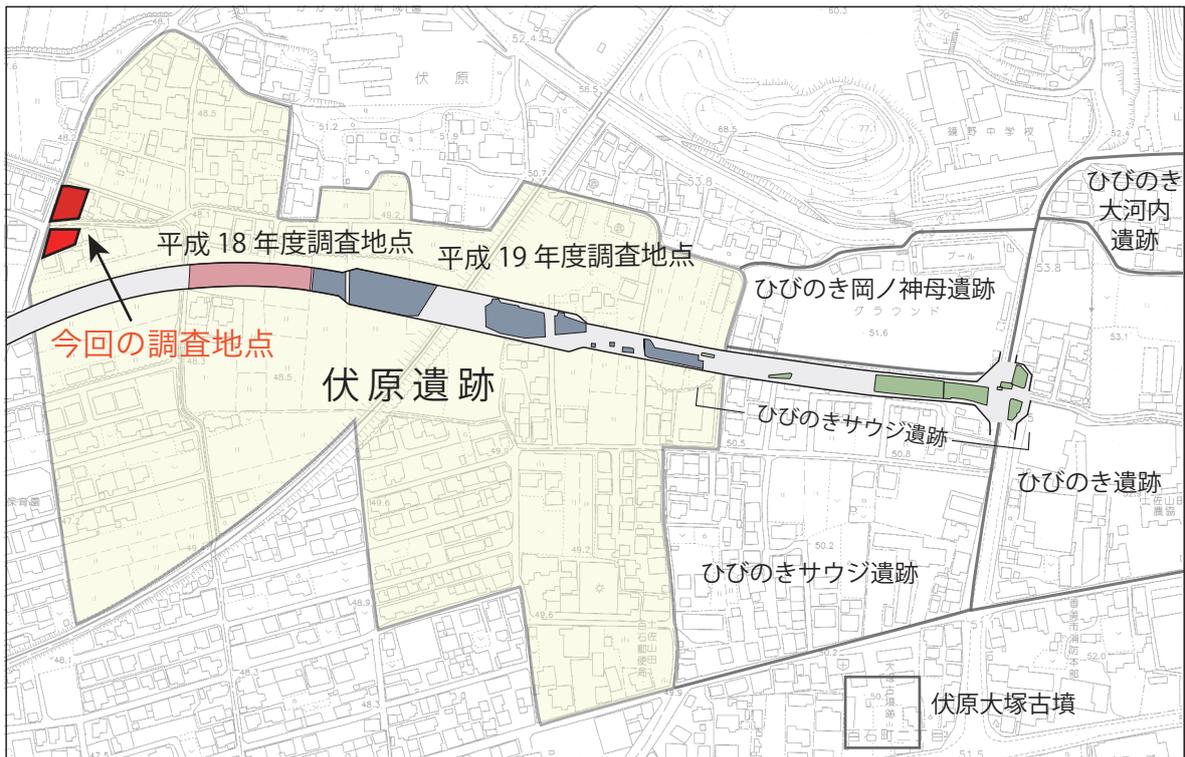
遺物

- ・約24箱(土器片約19,200点)の遺物が出土し、ほとんどが弥生時代末～古墳時代の土器。
- ・赤色顔料の付着した台石が出土している。
- ・古墳時代、6世紀末～7世紀初頭とみられる須恵器が出土している。



遺跡番号	遺跡名	時代	遺跡番号	遺跡名	時代	遺跡番号	遺跡名	時代
1	伏原遺跡	弥生～近世	9	中沢古墳	古墳時代	17	予岳古墳	古墳時代
2	鏡野学園前古墳	古墳時代	10	溝渚古墳	古墳時代	18	予岳窯跡	古墳時代
3	小倉山古墳	古墳時代	11	桜ヶ谷古墳	古墳時代	19	長谷山2号窯跡	平安時代
4	ひびのきサウジ遺跡	弥生～近世	12	前行山1号墳	古墳時代	20	長谷山1号窯跡	平安時代
5	伏原大塚古墳	古墳時代	13	前行山2号墳	古墳時代	21	雪ヶ峰1号墳	古墳時代
6	ひびのき遺跡	弥生・古墳時代	14	大元神社北古墳	古墳時代	22	雪ヶ峰2号墳	古墳時代
7	深坂古墳	古墳時代	15	大元神社古墳	古墳時代	23	銅鐸出土地	弥生時代
8	杖坂東古墳	古墳時代	16	神母古墳	古墳時代			

周辺の遺跡位置図



近辺の遺跡と伏原遺跡範囲図

北

I 区



II 区



- 弥生時代末～古墳時代初頭の住居跡
- 弥生時代末～古墳時代初頭の住居跡
- 弥生時代末～古墳時代初頭の壺棺墓
- 古墳時代後期の住居跡
- 古墳時代後期のカマド付き住居跡

平成28年度 伏原遺跡遺構配置図 (S=1/200)



I区遺構完掘状況(南から)



I区方形住居跡完掘状況



I区方形住居跡遺物出土状況



II区カマド付き住居跡遺物出土状況



II区カマド付き住居跡遺物出土状況